

大学院特別講義のご案内

日時:平成28年 9月 29日(木)

午後6時00分～午後7時30分

場所:D棟4階 大講義室

演題:「当科における顎口腔再建の現状と展望」

講師:東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

顎顔面外科学分野 鵜澤 成一先生

要旨:歯科医療の原点は、歯や歯周組織の一部や全部欠損を人工材料などで修復し、機能と形態を回復させることだと言えます。一方、顎口腔再建外科は、癌や外傷などのより生じた顎骨や軟組織の欠損を、他の臓器からの移植することにより修復し、さらに顎義歯やインプラントなどの人工材料を用いて、機能と形態を回復させることを原点としており、その原点は歯科医療の延長上にあるものとも言えます。また、口腔癌治療の標準治療は外科的切除であります。顎口腔領域における切除による影響は計り知れないものがあり、切除により、審美的・機能的に大きな障害をもたらし、患者のQOLを著しく低下させてしまいます。遊離皮弁移植を中心とした顎口腔再建は、切除による障害を最小限に抑え、患者のQOLの維持に欠くことのできない技術となっております。すなわち、再建ができることにより、より安全に切除ができるようになり、また、逆に、口腔進行癌に対して再建ができれば、標準治療である外科治療を行うことが難しいのが事実です。

本講義では、1987年3月から2016年8月までに当科にて行った524件の遊離皮弁移植手術を通じて蓄積した経験と知識をご紹介させていただくとともに、欠損に対する皮弁の選択や吻合する血管の選択、再建時の工夫などの再建のコンセプトについて概説し、さらに今後の課題や展望について述べさせていただきます。

※大学院生以外の先生方にも多数ご参加いただきますようお願い申し上げます。

本セミナーは大学院特別セミナーを兼ねております。奮ってご参加ください。

問い合わせ先:口腔外科学第一教室 (内線2936)